

## 第28回東京都地域冷暖房区域指定委員会 議事録

1 日時 令和元年8月27日（火曜日）午前10時から午前11時まで

2 開催場所 東京都庁第二本庁舎10階217会議室

### 3. 議題

(1) 八王子旭町地域冷暖房区域の変更について(検討)

### 4. 配付資料

(1) 委員名簿

(2) 八王子旭町地域冷暖房区域の変更について

参考資料1 東京都地域冷暖房区域指定委員会設置要綱  
(平成21年11月17日21環都環第304号)

参考資料2 東京都地域冷暖房区域指定委員会の運営方針  
(平成28年12月13日第22回東京都地域冷暖房区域指定委員会)

### 5 出席者（敬称略）

(委員) (◎印は会長)

◎東京海洋大学学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授 亀谷茂樹  
横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授 稲垣景子  
工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授 中島裕輔  
関東学院大学 建築・環境学部 建築・環境学科 准教授 山口温

(オブザーバー)

都市整備局 都市づくり政策部 土地利用計画課 再開発等促進区担当 加藤史明  
環境局 地球環境エネルギー部 環境都市づくり課 建築物担当課長代理 穂坂直哉

(事務局)

環境局 都市エネルギー推進担当部長 小川謙司  
地球環境エネルギー部 都市エネルギー推進担当課長 神山一  
地球環境エネルギー部 次世代エネルギー推進課 都市エネルギー担当課長代理 能登屋浩  
地球環境エネルギー部 次世代エネルギー推進課 熱供給担当課長代理 菱沼滋夫  
地球環境エネルギー部 次世代エネルギー推進課 都市エネルギー推進担当 佐藤宏樹

# 第28回東京都地域冷暖房区域指定委員会

## 速 記 録

令和元年8月27日（火）

東京都庁第二本庁舎10階 217会議室

(午前10時00分開会)

○事務局 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席いただきましてどうもありがとうございます。

これより、第28回「東京都地域冷暖房区域指定委員会」を開催いたします。

私は、4月から都市エネルギー推進担当を拝命しました、神山でございます。どうぞよろしく申し上げます。事務局を務めさせていただきます。

本日の議題に入る前に、部長の小川のほうから一言御挨拶をさせていただきます。

○小川部長 おはようございます。委員の皆様方には、大変お忙しい中、都庁までお越しいただきましてありがとうございます。

ようやく暑さも和らいできまして、お盆を過ぎて涼しくもなってきましたけれども、今日は夕方から雨だということで、ご不便なところ、ありがとうございます。

私は、一昨年の夏までこちらの委員会も担当させていただいておりました。担当の変更があつてしばらく間が空きましたけれども、再びやらせていただくことになりましたので、よろしく願いいたします。

今、都内地冷の地域が88あるということで、今回の八王子の区域については、既に地冷の事業をおやりになっているところの拡張ということでございます。案件としては、公共の施設を中心に供給されるということで、熱需要とかいろいろ細かい論点とかあるかもわかりませんが、それぞれの御専門の立場から見ていただきながら御意見賜ればと思っております。

よろしく願いいたします。

○事務局 本日は、中島先生が少し遅れていらっしゃいます。現時点で3名の御出席をいただいております。定足数を満たしてございます。郡委員、高口委員につきましては、所用につき御欠席でございます。

検討案件につきましては、熱供給事業者からの説明及び質疑応答が必要であるということの観点から、事業者の出席を求めています。

なお、本日の会議は公開で行うこととなっております。また、議事録、会議資料も原則公開ということになってございます。

では、議事進行につきましては、亀谷会長にお願いをさせていただければと思います。よろしく願いいたします。

○亀谷会長 承知いたしました。

それでは、この会議次第にございますように、本日は案件が1件となっております。い

つものように、初めに熱供給事業者から説明を受けまして、質疑応答を行います。その後の検討は、参考資料1の委員会設置要綱並びに参考資料2の運営方針によりまして議事進行を進めてまいりたいと思います。

委員の皆さんもその方向でよろしゅうございますか。

どうもありがとうございます。

(中島委員入室)

それでは、本日の案件については、そのように進行を進めてまいります。

では、熱供給事業者の入室をお願いいたします。

(熱供給事業者入室)

○亀谷会長 まず、熱供給事業者の皆様方に申し上げます。八王子旭町地域冷暖房区域の変更について、これより検討を行います。

初めに熱供給事業者様からの説明を受け、その後、質疑応答を行います。熱供給事業者の方々が退出の後、検討結果をまとめます。このような進行になりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、熱供給事業者様からの説明をよろしくをお願いいたします。

○東京都市サービス 東京都市サービスです。

それでは、「八王子旭町地域冷暖房区域の変更について」説明させていただきます。説明する資料は、こちらのA3、2枚の資料を説明させていただきます。

まず、この「■区域の概要」です。この区域は、JR八王子駅北口周辺の地域で、1993年3月に区域指定を受け、1994年8月より熱供給を開始してございます。

区域は、こちらの地図に載っていますが、八王子市旭町以下、各町名になってございます。既存の区域が、黒の点線で囲まれている区域で、こちらが8.3ヘクタールで、今回拡大をさせていただきたい対象地域がこの赤の点線で囲っている区域、1.2ヘクタールとなります。熱供給のプラントは、この黒の点線の右側のほうに「熱供給プラント」がございます。

こちらから供給している建物は、下の熱需要建築物概要のとおり、①京王プラザホテル八王子、左上のほうに②八王子スクエアビルという商業施設のビルがあり、この2つの建物に、現在、供給してございます。仮称ですが、東京都の産業交流拠点と八王子合同庁舎の建物がこの拡大のエリアに建てられ、約2万9000㎡で供給開始は2022年3月を予定しております。こちらに供給するための区域拡大となってございます。

導管は、この地域熱供給プラントから黒の線で①と②に送っているのが既存の導管でござ

います。新しく③の建物に供給するために、この水色と緑の導管を新たに敷設させていただきます。

この地域の供給条件は、冷水が7℃で供給して14℃で返ってきます。温水は、47℃で供給し、37℃で返していただくという形になっております。供給圧力は、冷水、温水とも0.1メガパスカルから0.8メガパスカルとなっております。

「■変更の概要」は、JR八王子駅周辺において地区開発の検討が進んでおり、その一環として当区域に隣接する区画に産業交流拠点（仮称）及び八王子合同庁舎が建設され、その建物の冷暖房用の熱源を同区域の地域冷暖房により供給することとなっております。この新しい建物は、現在指定を受けている地域冷暖房区域の区域外ですので、この当該区域を含めるような形で地域冷暖房区域を変更させていただきます。新たに供給導管も敷設いたします。こちらの新しい建物に供給するために熱需要が増加するので、既存の設備では供給能力が不足するため、熱源機器を増設いたします。

新規の需要の建物は、産業交流拠点及び東京都八王子合同庁舎と、あとは八王子市様の保健所が入る予定になってございます。建物については、地上7階、地下1階、約2万9000㎡です。

続きまして、「■熱需要」でございます。

当該区域における熱需要の予測ということで、1時間当たり、時間最大で冷熱が約25GJ/h、温熱が約11.5 GJ/hです。年間の熱負荷は、冷熱が約2万5000 GJ/h、温熱が約7300 GJ/hで、こちらは冷熱の最大が25GJ/hで、1時間当たりの地域冷暖房の区域指定の条件である21 GJ/hを上回り、基準に適合いたします。

こちらは、熱需要の特徴で、この下の右のグラフに載っております。夏期には、既存のお客様が、ホテル、宿泊施設であり、業務施設、商業施設という複合ビルなので、一般の事務所等に比較すると夕方から夜にかけての負荷が多くなっています。需要の特徴として、商業施設もありますので、平日と休日の熱需要の差がそんなに大きくないという特徴がございます。冬期は、この2番目のグラフですが、オレンジのところは温熱の需要でして夏期と同じように、夕方から夜にかけて少し多くなっています。若干冷熱についても冬期にあるという状況でございます。

月別の需要は、この一番下のグラフでございます。5月から10月は、基本は温熱の需要がほぼなく、冷熱のみとなっております。冬期は、温熱が中心になるということでございます。

2枚目ですが、プラントの熱源設備を記載させていただいております。BCR-1というブラインチラー冷凍機、こちらはプラントに氷蓄熱槽がございまして、そちらの氷を製造するチラーが1台あります。あとはWCRという水冷のチラーが1と2とありまして、こちらは1台ずつです。3は、熱回収型的水冷チラーでして、冷水と温水を同時に造るという機械です。そちらが1台。あとは、冬期の暖房用に既存ではガス温水ヒーターを設置してございます。こちらは、能力の小さいものが9台入っておりまして、以上が既存にある熱源設備です。新たな需要に対応するために今回新設するものが空気熱源ヒートポンプで、モジュールタイプのものですが、約43RTのものを10台、屋外に設置するという形を考えてございます。各々の機械のCOPは、こちらの機器単体COPに記載されているとおりでございます。今回新設する空気熱源ヒートポンプは、基本的にプラント機械室に水冷のヒートポンプを設置するスペースがなく、あとは、プラントのある場所は、今後、地区開発が実施される可能性があり、その際のこととも考えて、屋外設置が可能な空気熱源ヒートポンプを設置させていただいております。それによって、既存の暖房に対応するのは、熱回収型のチラーとガス温水ヒーターのみでしたけれども、この空気熱源ヒートポンプは、冬期に温熱も造れるということで、こちらで対応するという形になっています。今回、大気に排出が見込まれる窒素酸化物の量は、ガスを使用する設備は、新たな設置はないので、窒素酸化物の量に変化はありません。ちなみに2017年の実績は33ppmで、指定基準の40ppmを下回ってございます。

今の熱源設備は、システムフローにあるとおり、ブラインチラーで氷蓄熱を造って放熱し、水冷チラーで冷水を造る。熱回収型的水冷チラーで、冷水を造りながら温水も造り、ガスヒーターで温水を造る。そして、今回新設の空気熱源ヒートポンプで、夏は冷水、冬期は温水を製造するという形で地域導管に送るというシステムになってございます。

続きまして、熱源設備の運転計画でございます。(1)の夏期は、この右のピーク日の運転パターンのグラフを見ていただくと、夜間にも冷水の負荷があります。こちらは、グラフの青い部分の水冷チラーで夜間負荷は対応いたします。この赤い部分は、ブラインチラーなので、こちらで氷蓄熱槽に氷を造ります。黄土色の線が蓄熱量になっていまして、朝8時までに蓄熱槽を蓄熱しまして、昼間は放熱をするという形になっています。昼間に放熱をするのですが、それでは当然足りないので、熱源機の効率の良い機器である水冷チラーが中心になり、あとは緑の熱回収型的水冷チラーを動かします。効率の良い機器を順次運転して冷水を供給する形になってございます。

(2)が冬期でございます。冬期は、若干冷水の需要があるので、この冷熱需要と温熱需

要が同時に発生するところは、グラフでは緑のところですが、水冷チラーの熱回収型、冷水と温水を同時に製造するWCRで対応いたします。当然これだけでは少ないため、ここでは黄色の部分ですが、空気熱源ヒートポンプで対応します。それでも不足する場合は、ピンクの部分の、ガスヒーターで対応いたします。夜間の負荷については、少ないので、ガスヒーターの温熱で対応いたします。冷水は、本当に若干ですので、氷蓄熱槽からの放熱という形で対応します。

今回の変更前後のエネルギー効率の変化は、下の表になってございます。変更前が、販売熱量は、冷熱が2万3079GJ、温熱が5,931GJ、合計が2万9010GJ、エネルギーの使用量は、電気が2,689MWh、都市ガスが13万5000Nm<sup>3</sup>で、こちらの実績でCOPが0.89になってございます。

今回新たに新設される建物の熱量を加えましてシミュレーションをした結果がこの変更後になってございます。販売熱量が、冷熱が2万5133GJ、温熱が7,313GJ、合計が3万2446GJ、電力が3,491MWhで、都市ガスが3万3000Nm<sup>3</sup>ということで、こちらのCOPが0.91になります。この0.91は、非蒸気系の指定基準の0.90を上回るという想定になってございます。

最後に、地域冷暖房のスケジュールは、工程表にあるとおりでございます。

新規の建物の産業交流拠点（仮称）及び八王子合同庁舎は、既に建物本体に着工している状況で、竣工が2021年度末なので、その時期に地域熱供給を開始する予定でございます。

地域熱供給の増設については、ただいま設計中で、工期は、来年2020年の夏に熱源機の増設を予定しておりまして、秋に導管の敷設を予定してございます。

都市計画の手続きは、2019年度12月または1月ぐらいに都市計画決定を受ける予定でございます。

簡単ですけれども、説明を以上で終わらせていただきます。

○亀谷会長 どうもありがとうございました。

それでは、ただいまの御説明に対しまして、質疑応答に入りたいと思います。委員の先生方、よろしくお願いたします。

どうぞ

山口委員 資料2の2ページ目のところなのですが、今後、地区開発がされるということで、室外でヒートポンプを設置するということなのですが、これが2019年の秋に決まるという都市計画の決定のことを指しているということでしょうか。

○東京都市サービス 2019年度の都市計画の決定については、あくまでもこの八王子旭町の地域冷暖房区域の拡大に関する都市計画決定という意味合いでございます。この地区開発さ

れる予定というのは、この地図のプラントがある道路に挟まれた三角の部分です。昔から地区開発の計画がありますが、いつ頃になるかまだ未定ではございます。計画があるので、お話しさせていただきましたが、工程表の2019年度の都市計画決定とは異なります。

山口委員 そうすると、理解としては、今後、もしかすると開発が進むという想定のもとに一旦ヒートポンプで対応して、今後、広がった場合は、プラントを大きくして、水冷のものを入れるとかということも考えていらっしゃるということでしょうか。

○東京都市サービス その地区開発の状況にもよりますが、今、この熱供給プラントは、こちらの4階建ての建物にありますが、その建物がその開発の際に残るのが少し厳しいと思われるので、プラントを別の位置に移設します。移設先可能性としては、この三角のエリア内の可能性が高いので、移設する場合については、新たにそのプラントにその需要に見合った熱源施設を設置させていただくということになると思います。

○亀谷会長 中島先生、どうぞ。

○中島委員 資料2の1枚目ですね。「③熱供給導管の概要」とございますが、新設導管がちょうど拡大対象供給区域との境で、配管の径が小さくなっています。将来、再開発等で拡大するとか、何か想定されてやられているのかなと思いますが、少し御説明ください。

○東京都市サービス 先ほどお話しさせていただきました、今後、この三角の区域で地区開発が行われたときに、今ある熱供給プラントがこの位置では残すことができないと想定されておりまして、今、その熱供給プラントを移す位置と想定しているのが、この産業交流拠点と現在のプラントの間の部分を想定しております。そちらにプラントを設置した場合に、既存の①と②に送る冷水・温水について、青い導管から供給させていただきます。緑の導管は、今回新しくできる建物への供給に間に合うような大きさに設置しています。青い導管は、今の既存の①と②にも供給できる分を新たに設置するという形になっています。

○中島委員 わかりました。ちなみに、既設導管は今の青い新設導管と同じぐらいなのか。もう少し大きいのですかね。

○東京都市サービス 既設導管は、もう少し大きいです。

○中島委員 根元はもう少し大きいのですかね。

○東京都市サービス 当初の計画では、この2カ所以外にも送るという計画のもとに導管を敷設しましたが、先々この2カ所以上に入るといった話もないので、この青い部分につきましてはこの350Aと200Aにしてございます。

ちなみに、元のところは、冷水が600Aで温水が450Aという配管も入ってございます。ただ、



現在はこの2カ所なので、350A、200Aで間に合うだろうという想定でございます。

○中島委員 そうしますと、ちなみにこの拡大対象供給区域の右側にまだ余白がありますが、ここはあまり想定されていないのでしょうか。さらにそこへの拡大は想定されていないという形なのでしょうか。お答えできる範囲で。

○東京都市サービス この先の部分については、現在、八王子合同庁舎様があるところですが、熱供給をする予定はないであろうということなので、このエリアに限定させていただいてございます。

○中島委員 わかりました。ありがとうございます。

○亀谷会長 では、私のほうから。

熱供給で、冷水・温水とも行き・返りで、冷水で7℃、温水で10℃ぐらいのかなり大きな温度が2次側でとれるというものを供給条件となされています。今後、1次側の効率をいくら上げても、2次側との連携がないと、全体として、プラントとしての効率化が図れないのではないかと思うのですけれども、そのあたりのところについては、何かお考えというものはございますか。

○東京都市サービス こちらに記載しているのはあくまでも供給条件で、実際はこのとおりに温度差がとれているわけではございません。私どもは、この地区に限らず、熱供給のお客様に対しては温度差をとっていただくようお願いをしております。御理解いただいた需要家様については、例えば、空調機やファンコイルを大温度差仕様にしていただくなど、温度差をとっていただいているところもございます。実態は温度差をそれだけとって返していただくということがなかなかない状況です。

我々としては、新たに何か考え方があるかという、それだけの温度差をとっていただいたお客様に対しては何かメリットを出すようなメニューを考えるなどの検討する余地はございますが、なかなか具体化できていない状況でございます。

ちなみに、今回の供給先からは、大温度差調整契約のお申し込みをいただいておりますので、有効利用していただけるものと考えてございます。

○亀谷会長 そうですか。いずれにしても、先ほど申し上げましたように、1次側の効率のみではなくて、トータルとしてのシステム効率向上が大事であるということで、ぜひともそのあたりのところのお考えをお進めいただければと思います。

○稲垣委員 現在ホテルがあるということで、平日と休日の熱需要の差が小さいとか、夜間にも需要があるというお話だったのですけれども、今回、この合同庁舎が入ることで、その

傾向がどうなっていくそうなのか、さらにはこの三角のエリアに新しく計画が行われたときのこの地区全体の将来の見込みみたいなものがございましたら教えていただけますでしょうか。

○東京都市サービス 今、最初のお話については、新しくできる建物は、基本的に昼間が中心という形になります。このA3の資料は、合算したグラフしか載せてございませんが区域指定申請書の後ろから5枚目ぐらいに先ほどのA3の資料とは別のグラフがついていて、こちらは一番上が夏の冷水需要になっています。普通の太めの実線が今の既存のホテルと業務・商業施設の熱の需要です。今回新設される建物の需要が、この少し細めのものになってございます。

当然のことながら大きさが違いますので、容量はこういう形なのですけれども、これを合算した形でこのA3の資料のグラフとなっておりますので、そういう意味では、若干夜間とかに負荷はありますけれども、ほとんど昼間の負荷ということになってございます。

この地区開発が行われた場合ということですが、この地区開発の想定がまだ先でございまして、どの程度の規模のものがどの時期にということはまだ明確にされてはございません。ただ、当然のことながら、こちらにできる建物については、地域冷暖房区域内ということもあり、熱供給を行いたいと思っております。

ただ、前々から聞いているのは、この地区は商業とか宿泊施設や住宅を建てたいという話は伺っておりますが、それはまだ全くこれから決めていくということですので、確認しながら進めさせていただいているという状況でございます。

○稲垣委員 ありがとうございます。

また、多様な用途構成が進んでいくだろうという見込みということですかね。ありがとうございました。

○亀谷会長 新プラントの開始は、現時点では最短で2025年ということですかね。

○東京都市サービス そうです。ここからまた少し延びている可能性が高いと言われております。

弊社のプラントが真ん中にあるので、それが移らないと全体の三角地区の開発ができないと言われております。

ただ、私どもも既設のお客様に送り続けながら新しいプラントを造らないといけないので、今、いろいろと協議をさせていただいているという状況でございます。

○亀谷会長 それでは、事務局から何か御説明はございますか。

○事務局 地域冷暖房区域の変更につきまして、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、第17条の19の規定によりまして、八王子旭町地域冷暖房区域変更に係る説明会を去る6月21日金曜日に開催いたしました。

区域を管轄する八王子市長、熱供給対象建築物の新築を行う者及び熱供給対象建築物の所有者であります東京都産業労働局に対し、区域の変更に関する説明を行いまして、意見を求めましたところ、両者ともに特に意見はないとの回答をいただいております。

以上です。

○亀谷会長 どうもありがとうございます。

それでは、全般に御質問はこれでよろしいでしょうか。

どうもありがとうございました。これで質問はないようでございますので、熱供給事業者様には御退室をお願いします。どうも本日はありがとうございました。

(熱供給事業者退室)

○亀谷会長 それでは、これより検討に入りたいと思います。

○山口委員 将来的に変わっていくため、大きなプラントを少し変えていくという中で、今回のように、ヒートポンプを室外に置くというやり方をした場合、新しく建つ建物に個別で行うことと、現在、供給しているところで行うということと、どちらのほうがいい選択なのかが判断がつかないなと思っています。業者の方には質問しなかったのですが、そこら辺は、例えば、東京都の方とかはどういうお考えなのでしょう。それでも既存のものから供給される分もあるので、効率的に上がっていくから、一旦でも室外機で置くようなヒートポンプの仕方でも、そちらのほうがいいという判断ですか。

質問が適確か分からないのですが、教えていただきたいという意味合いです。

○事務局 これは多分中島先生や亀谷先生がお話しされるのが適当かなと思うのですが、A3の資料の2枚目を見ていただいて、冬期の熱需要のこの黄色いところがヒートポンプで供給されることになるのだという認識なのですね。これまでは、多分ガス温水ヒーターでこの部分が賄われていたので、多分ガスの消費量の削減からすると、電気ヒートポンプというのは、CO<sub>2</sub>の観点からいくと悪くはないかなという見方が一つできます。

一方で、電気式のヒートポンプを使うのが外の環境への熱負荷という意味でどうかとか、いろいろな観点はあると思うので、ここは一義的にこうですというのはなかなか言いづらかなというのが、正直な感想ですかね。

歯切れが悪いのですが、CO<sub>2</sub>の観点だけで言えば、この選択肢としては、私どもとし

ては悪くはないなと思っています。難しいのは、この先の開発とかを見込んでいらっしゃるんで、それがさっきおっしゃったみたいに、25年だったものが、再開発が30年にまた延びますみたいな話で、今度、開発がやられると、地下にプラントを置くとか、いろいろな選択が起こってくるのだと思います。そのときにどういう機械を選択されるかというものと、30年ぐらいプラントを置いて時間が経つので、プラント更新に合わせて水冷のヒートポンプを置くとか、いろいろな選択が出てくるので、このタイミングに、これでどうですかというのは、課題として指摘をいただけるといいのかなと思います。

○亀谷会長 計画はまだ本当に確定していないということで、今後、どういう形に転がるかわからないという時点でそういう御判断かなということで理解しました。

ただ、今後、ヒートアイランド抑制の観点からいきますと、もちろんCO<sub>2</sub>の排出ガス抑制というのは重要かと思うのですけれども、それプラス、セットで顕熱排熱といいますか、ヒートアイランドの元凶になるという顕熱排熱等の排出規制みたいな、そういうものを両方の観点から考えるという、一つの新しいガイドラインなどもあっていいのかなと思うのですね。

特にこういうエネルギーの密集地、高密度地域では。だから、今後、そういうこともお考えいただければいいなと思います。

○中島委員 今のお話に関していきますと、なし崩し的に、イニシャルはそれほどかからずに、特例で追加して拡張するということが、余りまかり通らないほうがいいかなとは個人的には思いますが、今回のように、少し延びるにしても、ある程度再開発の予定はあって、山口先生がおっしゃるように、どっちに置いても同じではないかという考えもありますけれども、最初に空冷を建物側で置いてしまうと、最初から、地冷側のポテンシャル、増えるポテンシャルを取り除いてしまうところにもなるので、せっかくエリアを拡大して、需要も拡大するという方向で行く可能性を、芽を摘まないという意味では、仕方ないのかなというところが一番思うところですかね。

本来であれば、この新しくできる八王子合同庁舎に、例えば、最初からプラントを移設して、例えば、ここにコジェネも入れて、排熱も飲み込んで、防災拠点にするくらいのことをやってほしいなというのを非常に思ったのですけれども、そういう今後の再開発のときに自治体の施設が絡んできたときの理想的なあり方みたいなものを、この環境局からモデルみたいなものを打ち出すことはできないのですかね。

聞きつけてからだだと遅いので、あらかじめこういうやり方をすると環境もよくなるし安全も安心も向上するというのをうたっておいて、こういうやり方があるのかと自治体のほう

から相談に来るぐらいの何か方針みたいなものが打ち出せているといいのかなと思ったのですけれども、いかがでしょうか。

○亀谷会長 何か、そういうことをすると、インセンティブがあるとかね。何かそんなものもあればいいですね。今後になるかとは思いますが。

○事務局 今後検討する際に参考にさせていただきたいと思います。

○亀谷会長 よろしく願いいたします。

それでは、これで御意見は以上とします。

それでは、本日の案件につきましては、

八王子旭町地域冷暖房区域の変更は適当であると認める。ただし、空冷ヒートポンプ方式の導入については、将来の地区計画を考慮し、やむを得ないものと判断するもので、事業計画を実施するに当たっては、エネルギーの有効利用により一層努めるべきである。

事務局は、地域エネルギー供給実績報告書により、本施設更新及び地区計画の進捗状況を適宜把握し、エネルギーの有効利用の促進の観点から最善の方法をとるべく指導されたいと考えますが、これでよろしゅうございますか。

(「はい」と声あり)

○亀谷会長 ありがとうございます。

それでは、そのようにまとめさせていただきます。

では、以上で本日の会議は終了いたしました。

事務局から、最後に何かコメントはございますか。

○事務局 本日は、御論をありがとうございました。

次回の委員会でございますけれども、11月または12月ごろに、平成30年度、昨年度の地域エネルギー供給実績について報告をさせていただく予定としております。後日、事務局から日程調整等の連絡をさせていただきます。

事務局からは以上でございます。

○亀谷会長 ありがとうございます。

それでは、本日の委員会はこれで終わりいたします。

皆さん、どうもお忙しい中、御出席をありがとうございました。

(午前10時45分閉会)